

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 相輝	代表者	會田 雄一	法人・事業所の特徴	通所介護、グループホーム併設 ・その方らしく自由に気持ちよくケアを受ける事ができ、いつまでも笑顔がいっぱい元気よく楽しい生活が送れるようにトータル的にサービスを提供している。 ・自宅での生活の把握に努め、内服管理を行い健康管理に気を配る。短時間での訪問にて安否確認も行う。電話での安否確認も行う。
事業所名	小規模多機能施設 ひまわり	管理者	小山 広美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援-	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	7人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	アプリ活用で情報の洩れをなくす。 また、フィードバックの必要な情報については見極め対策する。	アプリの活用は出来ている。 全てではないが、フィードバックが出来ている部分もある。	伝え忘れていないか、確認をしてJANDIに挙げる。	アプリ活用を継続し情報共有を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	衛生委員会の定時開催。 コロナ感染対策継続。	衛生委員会 コロナ感染対策は日々継続している。	会議自粛のため、衛生委員会の活動は出来ていない。	衛生委員会を開催できるようにする。 引き続き継続して、コロナ感染対策を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	感染対策を徹底しても感染の不安が大きいので地域交流は難しい。事業所として外部会議に参加し地域の状況の把握に努める。	地域会議は〇回のみで、参加出来ていない。	コロナ感染のため地域との関りが出来なかった。	外部会議に参加し、地域と関りを持ち情報を把握する。 コロナ禍以前の様に、地域の方が気軽に立ち寄る事業所を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	民生委員に限らず地域住民との交流を広げていく。	地域の方との交流とまではいかないが、関りのある方（ご近所）との挨拶等は出来ている。	少しずつ以前のように地域で開催される時には参加して地域との繋がりを	地域の行事等に参加し交流を図る。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の代替えで定期的な利用状況の資料なども配布し、施設内の状況の報告をする。また、アンケートにてニーズを把握する。	運営推進会議がコロナの為開催が出来ず、それに伴い利用状況等資料を配布が出来ていない。	会議が開催出来ていないときは利用状況など配布することが出来なかった。	以前の様に、会議が開催できる状況になるまでは、利用状況等の資料を配布する。
-------------------	---	--	------------------------------------	---------------------------------------